

**令和5年度
公益社団法人創玄書道会事業報告**

公益目的事業

第1 書道に関する展覧会の開催等

事業名	時期及び場所	事業実績
第59回 創玄展	<p>3月9日～3月20日 国立新美術館 東京都美術館</p> <p>3月11日表彰式 ザ・プリンスパークタワー東京</p>	<p><創玄展> 広く全国より公募した準会員及び二科6,132点の作品の中から、本会審査会員によって鑑別・審査を受けて選抜された3,803点と正会員1,425点の合計5,228点を国立新美術館と東京都美術館に展示した。入場無料。</p> <p>特別賞の選考には外部より日本芸術院会員の宮田亮平氏と高木聖雨氏を招聘した。</p> <p>入場者 35,240人。ボランティア協力者延べ900人。</p> <p>* 顕彰 *</p> <p>文部科学大臣賞 鈴木史鳳 金子鷗亭記念賞 横瀬奈美 21世紀賞 長谷川鸞卿、細川石圃 東京都知事賞 堀内賢明 理事長賞 駒形秀仙、矢壁療東、吉野祥琴 創玄展大賞 野中林雨 創玄展準大賞 青木聡美、板橋松華、伊藤蘭香、岩崎彌生、加賀美草心、葛西孝之、川畑彩春、北清紫紅、佐藤昌弘、志岐陽華、竹林青園、田村澄心、頓所荷葉、長原皋月、日村隆子、松本紫羊、三ヶ尻祥蘭、簗島蒲邕、宮脇玄德、矢野月悠</p> <p>創玄書道会賞 伊藤貴啓、小林悦子、寺松小錦、水書雨香 毎日新聞社賞 阿彦應玖、長谷川翔波、平田純子、平田春蓉、宮澤天玲</p> <p>以下 特選80名・秀逸549名・二科賞247名・準二科賞493名</p> <p><作品解説会・席上揮毫会>新型コロナウイルスの影響のため中止した。</p> <p><オンラインの活用> 展覧会場風景を動画撮影し、本会ホームページに掲載。また、展覧会場内の数か所にQRコードを掲出し、個人の携帯電話で作品画像や作品情報等を見たり、陳列室番の検索ができるシステムを活用した。</p>
併催 学生部門 全国学生書道展	<p>3月9日～3月14日 東京都美術館</p> <p>3月12日表彰式 東京都美術館講堂</p>	<p><全国学生書道展> 広く全国より公募した小学校入学前の幼児から高校生までの10,391人、19,402点の作品の中から、本会審査会員によって鑑別・審査を受けて選抜された4,984点の作品を展示した。入場無料。</p> <p>特別賞の選考には外部より文部科学省教科調査官・豊口和士氏を招聘した。</p> <p>入場者 15,024人。ボランティア協力者延べ350人。</p> <p>* 顕彰 *</p> <p>優秀団体賞 大琳書道会 ほか74団体 文部科学大臣賞 吉岡 優 東京都知事賞 赤坂美紅、小田心晴 大賞 安藤遙香、伊藤美智子、櫻井乃梨、三鈷莉乃愛、鈴木真里江、高崎未来、中尾 学、森 悠弥、森本優那</p>

事業名	時期及び場所	事業実績
		東京都教育委員会賞 天田翔大、岩越智咲、小川紗菜、貞包麻帆、安川侑良 以下 毎日新聞社賞 63 名・金剛峯寺賞 36 名・学年優秀賞 403 名ほか 9,872 名 <作品解説会>新型コロナウイルスの影響のため中止した。
第 60 回記念 創玄展	8 月 16 日～8 月 20 日 札幌市民ギャラリー	<創玄代表作家 100 名による小品展> 第 60 回を記念して、中野北溟最高顧問をはじめとする評議員以上 55 名と道内の推薦作家および地域創玄代表者 45 名の作品 100 点を展示した。入場無料。 入場者 1,165 人。ボランティア協力者延べ 60 人。
第 49 回 創玄現代書展	10 月 31 日～11 月 5 日 セントラルミュージアム銀座 11 月 4 日表彰式 東京プリンスホテル	最高顧問、顧問、名誉会長、会長、理事、監事、常任参与、評議員、一科審査会員、二科審査会員中より推薦された作品 62 点と、審査会員及び創玄展一科または毎日展入賞経験のある出品資格者により応募された作品 1,388 点から、選抜された入選作品 100 点を展示した。 本年度選考委員 永守蒼穹、醍醐春翠、奈良尚石 入場者 2,049 人。入場無料。 *顕彰* 白鷗賞 新井堯延、大友美海、片野小祥、須賀紅月、田中松猩、豊島恵子、長谷川翔波、室井大輔、渡部東彩 <作品解説会>選考委員による展示作品解説を 3 回行い、会場内にて作品鑑賞の機会を開いた。一般参加者約 150 人。聴講無料。
第 60 回記念 全国競書大会	11 月 16 日 審査会 創玄会館	<一般部> 広く全国より公募した 6,912 点の作品の中から、本会審査会員によって優秀な作品を選抜した。成績を本会ホームページにて発表し、特に優秀な 56 点の作品を本会ホームページおよび「創玄会報 133 号」に掲載。 <学生部> 広く全国より公募した小学校入学前の幼児から高校生までの作品 22,535 点の作品の中から、本会審査会員によって優秀な作品を選抜した。成績を本会ホームページにて発表し、特に優秀な 122 点の作品を本会ホームページおよび「創玄会報 133 号」に掲載。 *顕彰* 最優秀団体賞 大琳書道会 団体特別賞 隆玄書道会ほか 23 団体 優秀団体賞 蒼玄書道会ほか 34 団体 <一般部> 東京都知事賞 福島才菌 創玄書道会賞 飯田柳沙、高野瀬紀子、武部圭子、千葉将士、豊岡芳節、西野理嵐、三輪瑞雪 以下 大会会長賞 10 名・第 60 回記念賞 10 名・毎日新聞社賞 18 名・金剛峯寺賞 10 名ほか 2,332 名 <学生部> 東京都知事賞 小暮碧月 創玄書道会賞 氏家 新、大島 凜、小川紗菜、北山穂風、鈴木真里江、曾我くらら、竹原 綾、根本優菜、築川瑠花 東京都教育委員会賞 青木花咲、鹿島柚花、金枝虹実、吉田陽香 以下 大会会長賞 14 名・第 60 回記念賞 10 名・毎日新聞社賞 58 名・金剛峯寺賞 26 名ほか 10,316 名

事業名	時期及び場所	事業実績
第74回 毎日書道展協力	7月12日～8月6日 国立新美術館 東京都美術館	総出品点数 27,428 点のうち 6,648 点出品。本会会員から運営委員、審査員、作品解説など係員として多数運営に協力。 ボランティア協力者約 150 名 主催:毎日新聞社・(一財)毎日書道会
協会創立 50 周年記念 第 41 回日本詩文書作家協会書展協力	6月7日～6月11日 セントラルミュージアム銀座	総出品点数 335 点のうち 197 点出品。また、特別企画展示の物故者 62 点のうち 30 点出品協力。本会会員から役員、事務局員など係員として多数運営に協力。 主催:日本詩文書作家協会
第 10 回 日展協力	11月3日～11月26日 国立新美術館	第 5 科公募出品点数 8,822 点のうち 702 点出品。本会会員から、審査、会場当番など係員として運営に協力。 主催:公益社団法人日展
第 42 回 北海道創玄展後援	5月31日～6月4日 札幌市民ギャラリー	会場の都合で陳列されない創玄展二科出品者の入選入賞作品を展示するため 127 点に助成した。 主催:北海道創玄
北海道松前町への 助成	12月	「書のまちづくり」に取り組む松前町の書道文化の振興と発展に寄与するため 60 万円を寄付した。 松前郡松前町
第 18 回「金子鷗亭記念松前町児童生徒書初め席書大会」への後援	1月12日 松前町民体育館	金子鷗亭先生の故郷である北海道松前町で開催。地元小学生から一般までが参加。「金子鷗亭賞」の付与と副賞を寄贈した。 金子鷗亭賞 吉田海奈 主催:文化の香り漂う書のまちづくり推進協議会
正会員が主催する事業への後援	通年	全国の正会員が行う展覧会、講習会等に対し、58 件の後援を行った。祝電および案内用の宛名ラベルを原価提供により 39 件協力した。

第 2 書道に関する講習会等の開催

事業名	時期及び場所	事業実績
第 61 回 創玄書道会 全国夏期書道研究会	7月29日～8月1日 熱海市 金城館	本会役員が講師となり、現代の書作品の鑑賞及び作品制作の研究を3泊4日で開催した。教員及び書道指導者など 112 名が参加。
第 42 回 古典研究会	11月25日～11月26日 大田区産業プラザ PiO	本会役員の講義と実技指導により、古典への理解を深めるための研究会を開催。本会講師による講演を行った。198 名参加。 課 題 「蜀素帖」講師・藤巻昭二 「開通褒斜道刻石」講師・渡部會山 「賀蘭汗造像記」講師・井之上南岳 講 話 「中国留学記」講師・金子大蔵
令和 5 年度松前町 第 11 回「金子鷗亭記念書道パフォーマンス」	5月13日 松前町民総合センター	鷗亭先生の故郷である松前町で開催。道南の高校 10 校及び松前中学校、松城小学校が参加。書道文化の普及と「書の町松前」の周知を図ることに賛同し、後援と講師派遣を行った。 主催:文化の香り漂う書のまちづくり推進協議会

第3 書道文化の普及振興及び広報

事業名	時期	事業実績
会報「創玄」131号	7月23日発行	5,530冊発行。正会員、準会員へ配布を行い、関係団体へ贈呈。一般へ5冊販売。
会報「創玄」132号	12月25日発行	5,550冊発行、正会員、準会員へ配布を行い、関係団体へ贈呈。一般へ5冊販売。
第59回 創玄展名鑑	3月9日発行	1,600冊発行、正会員、準会員の希望者へ951冊の配布を行い、一般入場者へ0冊販売。
第59回 創玄展作品集	5月27日発行	2,010冊発行、正会員へ配布を行い、準会員及び不特定多数の書道愛好者へ483冊販売。国立新美術館、函館美術館等へ寄贈。
第49回 創玄現代書展作品集	10月31日発行	1,450冊発行、出品者へ配布を行い、会員及び一般入場者へ444冊販売。他団体の関係者へ贈呈。
創玄会館内「金子鷗亭 記念ギャラリー」展示と 管理	通年 創玄会館3階	平日の10:00～16:00、事前予約制で「金子鷗亭記念ギャラリー」を一般に開放している。令和5年5月8日より、新型コロナの分類が5類に移行されたため開放を再開。入場者1名。記念事業業務による事務局繁忙のため9月1日より解放を休止。閲覧室に本年度受け入れた書籍26冊。
創玄会館内「多目的ホ ール」の貸与と管理	通年 創玄会館2階	書道研究会、講習会、会議に19団体利用。令和5年5月8日より、新型コロナの分類が5類に移行されたため貸与を再開。
インターネット事業	通年	公益社団法人として必要とされる資料、資産等を公示した。広報においては毎月「創玄だより」を発信。本会が主催・協賛・後援等を行う展覧会情報を掲載した。また、創始者金子鷗亭や本会に所属する作家の作品および映像資料等を紹介した。

第4 その他目的を達成するために必要な事業

- (1) 公益社団法人日展の事業を支援するため、日展パートナーズ賛助制度（寄附制度）を継続した。
- (2) 公益社団法人全日本書道連盟の事業を支援するため、維持団体として加入を継続した。